

春日井市水道事業経営戦略(中間見直し) 進捗状況

令和4年度(2022年度)

目 次

1	令和4年度事業進捗状況	1
2	財政計画進捗状況	2
3	計画指標進捗状況	5
4	今後の主な事業概要	7

1 令和4年度事業進捗状況

体 系	内 容
1 安全	<ul style="list-style-type: none"> ・水質検査計画の改訂 ・水安全計画の改訂 ・水質検査機器の更新（高速液体クロマトグラフ） ・直結給水の推奨
2 強靱	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化 管路2,751.97m （市民病院～西部ふれあいセンター 他） ・老朽化更新 管路 13,995.18m（高蔵寺町 他） ・地震等の災害に備え、愛知県水道震災復旧支援センター運用訓練（情報伝達訓練）、愛知用水水道事務所・県水道北部ブロック協議会合同防災訓練に参加 ・寒波により水道管凍結が発生した石川県羽咋市での応急給水活動
3 持続	<ul style="list-style-type: none"> ・東山ポンプ場整備（実施設計） ・上水道施設中央監視設備更新工事（基本設計） ・引越ワンストップサービスの導入 ・遊休土地の売却等募集 ・水源水中ポンプのインバータ機能増設（知多第6水源） ・送水ポンプの運転時間帯調整によるデマンドレスポンスの実施（ゼロカーボン推進：桃山配水場） ・漏水調査範囲の拡大（7年計画：3年目） ・愛知県広域化研究会に参加 ・一宮市との水質検査相互協力（シアン分析依頼）

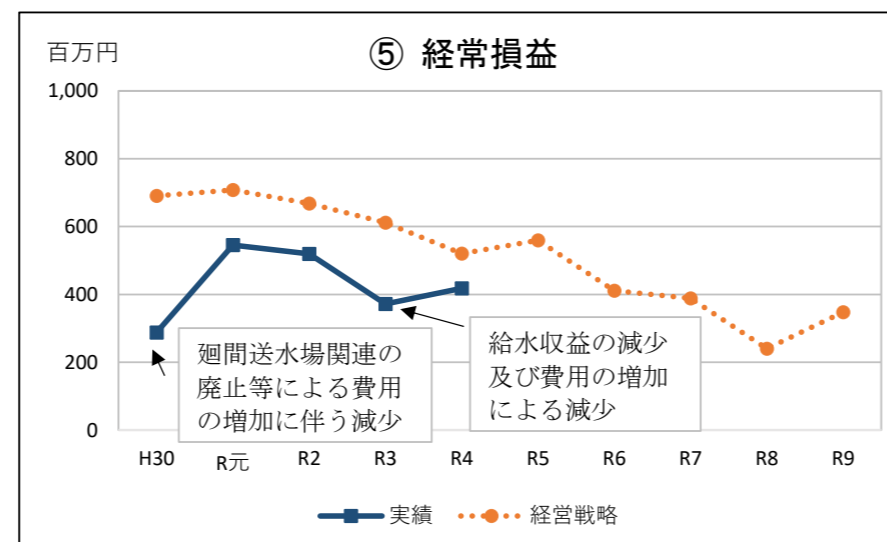
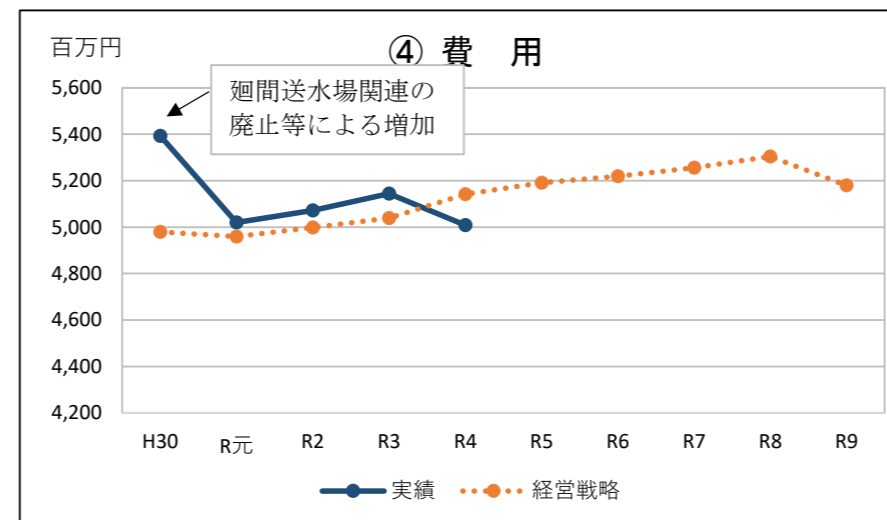
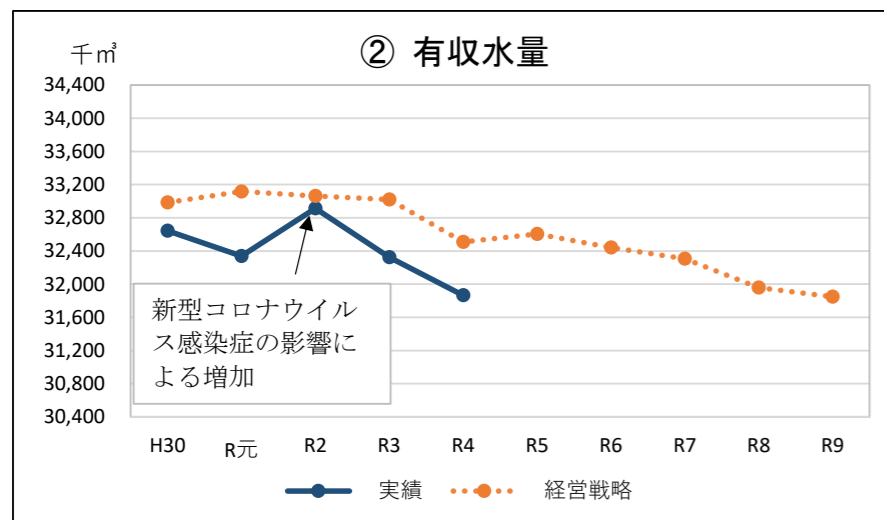
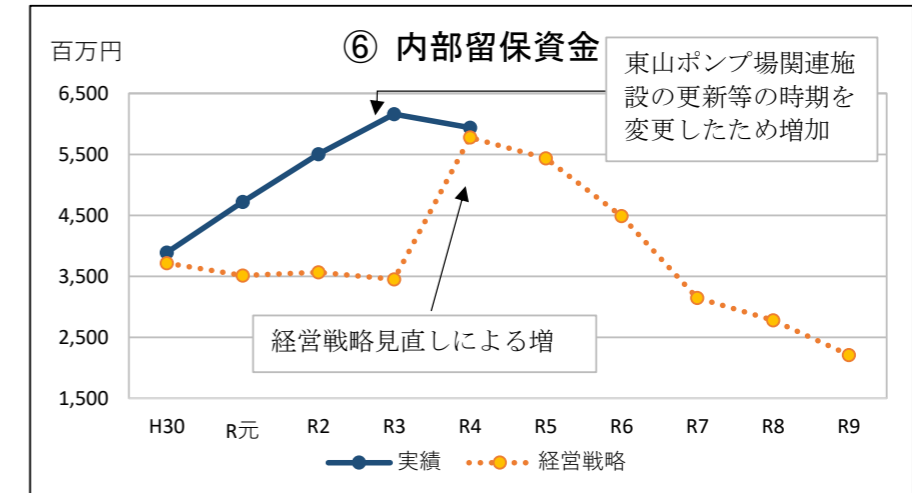
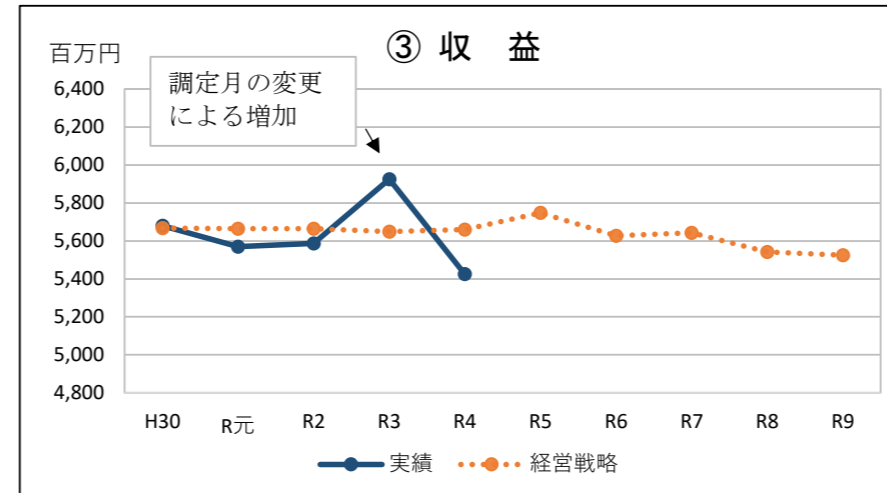
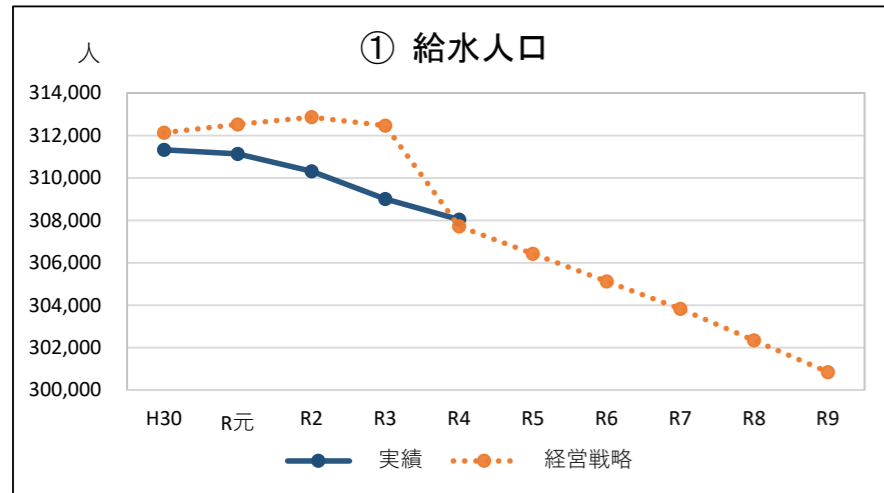
※ 経営戦略の令和4年度以降の数值は、見直し後の数值

2 財政計画進捗状況

- ①給水人口は、見直し後の計画値と同程度の減少となっている。
 ②有収水量は、リニア中央新幹線の工事遅延等により計画値より減少したため、減少している。

- ③収益は、計画値より有収水量が減少したため給水収益が減少し、見込みを下回っている。
 ④費用は、計画値より総配水量が減少したため県水受水費が減少したこと、業務費の委託料が減少したことにより見込みを下回っている。
 ⑤経常損益は、収益及び費用ともに減少したが、収益の減少幅が費用の減少幅より大きかったため見込みを下回っている。

- ⑥内部留保資金は、管路耐震化工事等を進めたが、工事費を抑制できたため目標値より上回っている。



収益の収支

区 分 \ 年 度	平成30年度 (2018年度) 決算	令和元年度 (2019年度) 決算	令和2年度 (2020年度) 決算	令和3年度 (2021年度) 決算	令和4年度 (2022年度) 経営戦略	令和4年度 (2022年度) 決算	令和4年度 (2022年度) 差	令和5年度 (2023年度) 経営戦略
収益の収入	5,679,687	5,564,430	5,587,536	5,515,225	5,659,872	5,425,094	△ 234,778	5,747,805
営業収益	4,672,635	4,615,447	3,872,860	4,559,921	4,186,808	4,003,598	△ 183,210	4,743,987
給水収益	4,656,496	4,601,788	3,859,347	4,541,952	4,170,367	3,989,853	△ 180,514	4,728,591
受託工事収入	0	0	0	221	110	0	△ 110	110
その他営業収益	16,139	13,659	13,513	17,748	16,331	13,745	△ 2,586	15,286
営業外収益	1,007,052	948,983	1,714,676	955,304	1,473,064	1,421,496	△ 51,568	1,003,818
受取利息	397	499	499	631	100	606	506	100
他会計補助金	2,418	2,194	762,773	2,256	581,936	525,474	△ 56,462	2,214
分担金	151,701	168,992	145,841	194,907	154,660	159,612	4,952	175,819
長期前受金戻入	743,702	661,519	686,248	622,703	606,640	604,512	△ 2,128	645,690
雑収益	108,834	115,779	119,315	134,807	129,728	131,292	1,564	179,995
収益の支出	5,391,663	5,019,139	5,068,203	5,143,234	5,139,787	5,007,067	△ 132,720	5,188,159
営業費用	5,316,921	4,953,113	5,010,786	5,095,255	5,101,322	4,968,521	△ 132,801	5,158,783
原水及び浄水費	2,029,643	2,064,616	2,027,825	2,027,075	2,081,516	1,995,785	△ 85,731	2,081,496
配水及び給水費	527,953	508,343	581,036	579,621	675,042	662,161	△ 12,881	686,044
受託工事費	0	0	0	200	100	0	△ 100	100
業務費	395,939	438,605	420,549	582,769	444,270	405,862	△ 38,408	438,128
総係費	103,574	100,524	96,106	97,415	103,241	104,847	1,606	110,026
減価償却費	1,861,676	1,777,579	1,764,295	1,757,273	1,766,743	1,765,345	△ 1,398	1,784,903
資産減耗費	398,136	63,446	120,975	50,902	30,410	34,521	4,111	58,086
営業外費用	74,742	66,026	57,417	47,979	38,465	38,546	81	29,376
支払利息	74,131	65,475	56,551	47,351	37,965	37,964	△ 1	28,876
雑支出	611	551	866	628	500	582	82	500
経常損益	288,024	545,291	519,333	371,991	520,085	418,027	△ 102,058	559,646
特別利益	0	5,895	0	410,094	0	0	0	0
固定資産売却益	0	5,895	0	0	0	0	0	0
過年度損益修正益	0	0	0	410,094	0	0	0	0
特別損失	1,556	836	3,796	1,358	2,500	1,533	△ 967	2,500
過年度損益修正損	1,556	836	3,796	1,358	2,500	1,533	△ 967	2,500
特別損益	△ 1,556	5,059	△ 3,796	408,736	△ 2,500	△ 1,533	967	△ 2,500
当年度純損益	286,468	550,350	515,537	780,727	517,585	416,494	△ 101,091	557,146

資本の収支

(単位:千円)

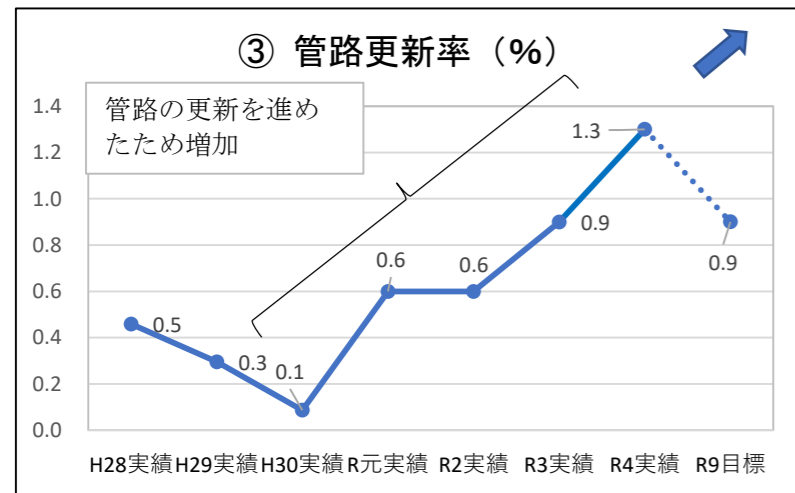
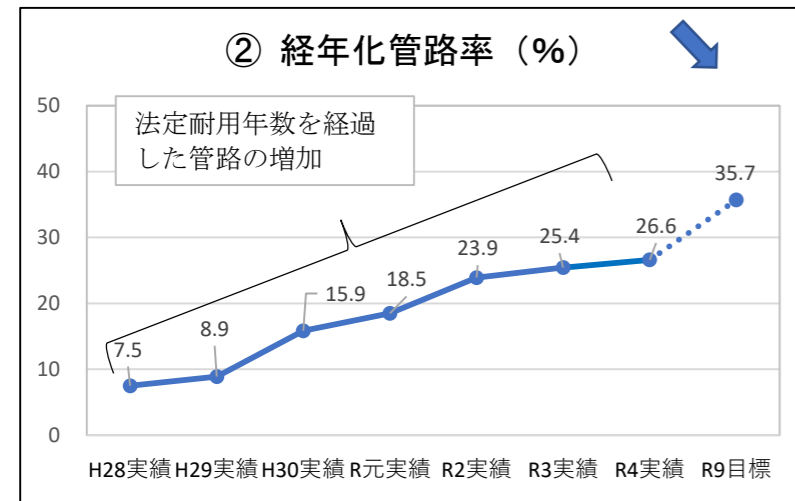
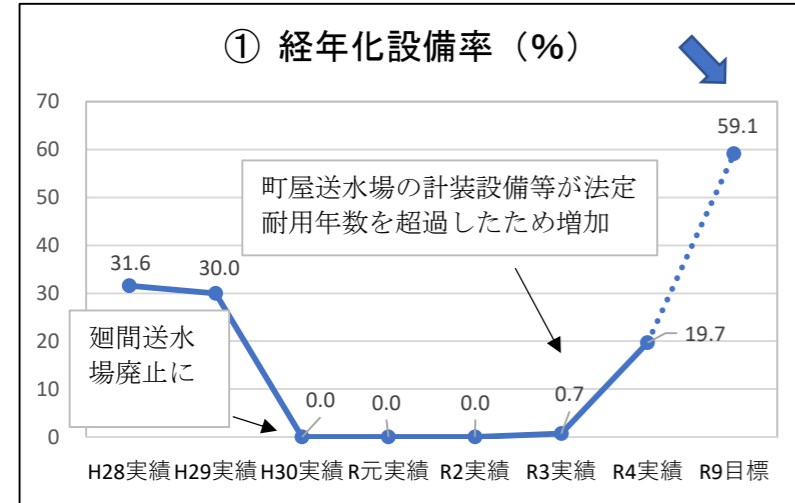
区 分 \ 年 度	平成30年度 (2018年度) 決算	令和元年度 (2019年度) 決算	令和2年度 (2020年度) 決算	令和3年度 (2021年度) 決算	令和4年度 (2022年度) 経営戦略	令和4年度 (2022年度) 決算	令和4年度 (2022年度) 差	令和5年度 (2023年度) 経営戦略
資本の収入	333,594	551,713	553,548	216,053	307,666	296,474	△ 11,192	221,203
負担金	12,778	9,024	9,302	12,208	28,234	24,589	△ 3,645	20,000
負担金	12,778	9,024	9,302	12,208	28,234	24,589	△ 3,645	20,000
固定資産売却代金	0	336	0	0	0	0	0	0
固定資産売却代金	0	336	0	0	0	0	0	0
工事収入	120,816	342,353	344,246	203,845	279,432	271,885	△ 7,547	201,203
工事収入	120,816	342,353	344,246	203,845	279,432	271,885	△ 7,547	201,203
分担金	0	0	0	0	0	0	0	0
分担金	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計貸付金返還金	200,000	200,000	200,000	0	0	0	0	0
一般会計貸付金返還金	200,000	200,000	200,000	0	0	0	0	0
資本の支出	775,849	1,445,738	1,485,297	1,527,141	2,398,905	2,131,029	△ 267,876	2,318,765
建設改良費	462,125	1,123,358	1,153,993	1,186,637	2,059,655	1,791,780	△ 267,875	1,995,013
整備事業費	432,517	1,089,717	1,123,991	1,107,412	2,022,817	1,772,785	△ 250,032	1,934,773
固定資産購入費	29,608	33,641	30,002	79,225	36,838	18,995	△ 17,843	60,240
企業債償還金	313,724	322,380	331,304	340,504	339,250	339,249	△ 1	323,752
企業債償還金	313,724	322,380	331,304	340,504	339,250	339,249	△ 1	323,752
資本の収入額が資本の支出額に対し不足する額	442,255	894,025	931,749	1,311,088	2,091,239	1,834,555	△ 256,684	2,097,562
補填財源	442,255	894,025	931,750	1,311,088	2,091,239	1,834,555	△ 256,684	2,097,562
過年度損益勘定留保資金	442,255	864,025	637,326	760,737	1,575,701	1,319,017	△ 256,684	1,316,835
当年度損益勘定留保資金							0	
建設改良積立金		30,000	294,424	550,351	515,538	515,538	0	780,727
内部留保資金残額	3,889,836	4,722,081	5,504,891	6,160,002	5,776,861	5,937,296	160,435	5,433,744
企業債残高	2,693,546	2,371,165	2,039,861	1,699,357	1,360,108	1,360,108	0	1,036,356

3 計画指標進捗状況

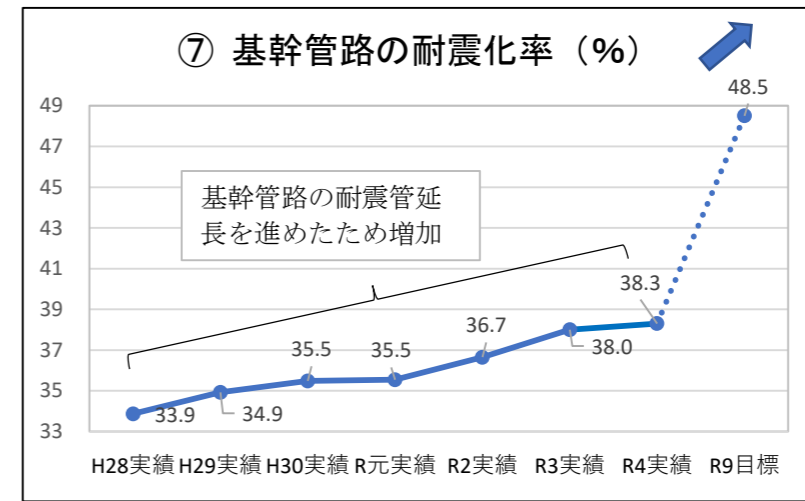
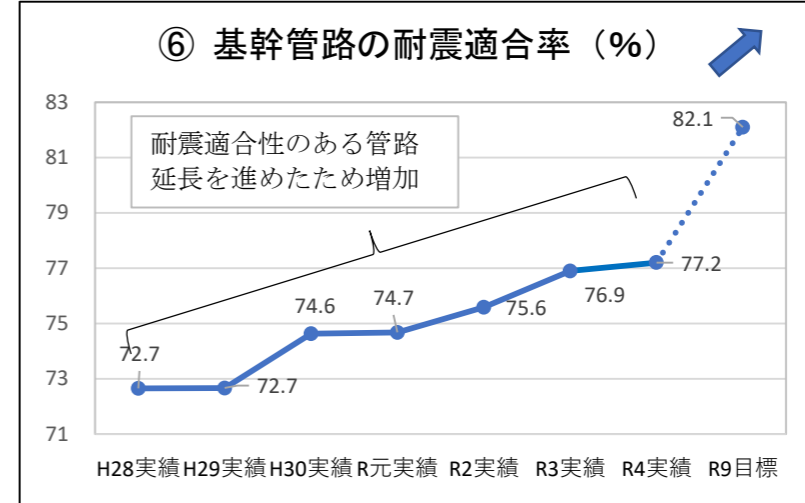
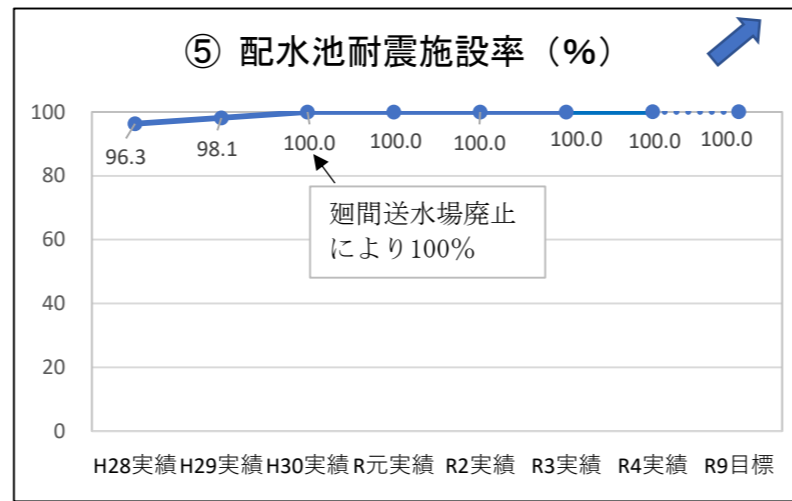
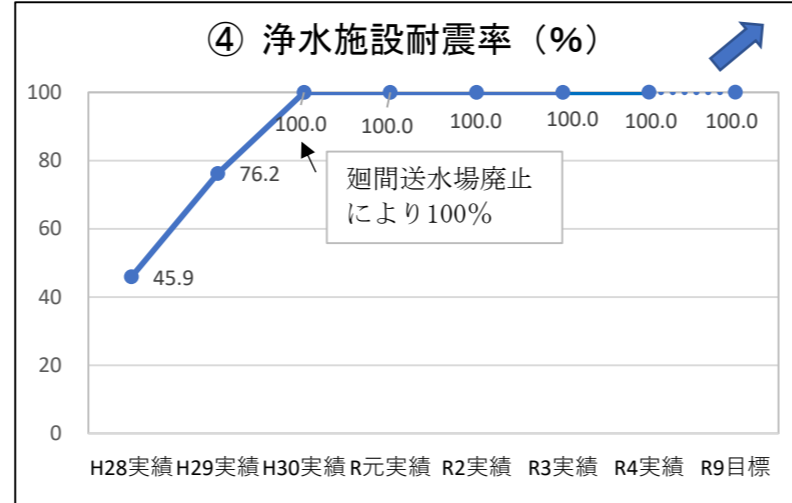
※ グラフ中、矢印（➡）は、望ましい方向

- ・施設について、①経年化設備率は、町屋送水場の計装設備等が法定耐用年数を超過したため19.7%となり、④浄水施設耐震率・⑤配水池耐震施設率は100%で、平成30年度の廻間送水場廃止に伴い、目標達成となっている。
- ・管路については、②経年化管路率は26.6%に増加、③管路更新率は目標値を上回り、⑥基幹管路の耐震適合率・⑦基幹管路の耐震化率は増加している。

水道施設の計画的更新



水道施設の耐震化



(単位：%)

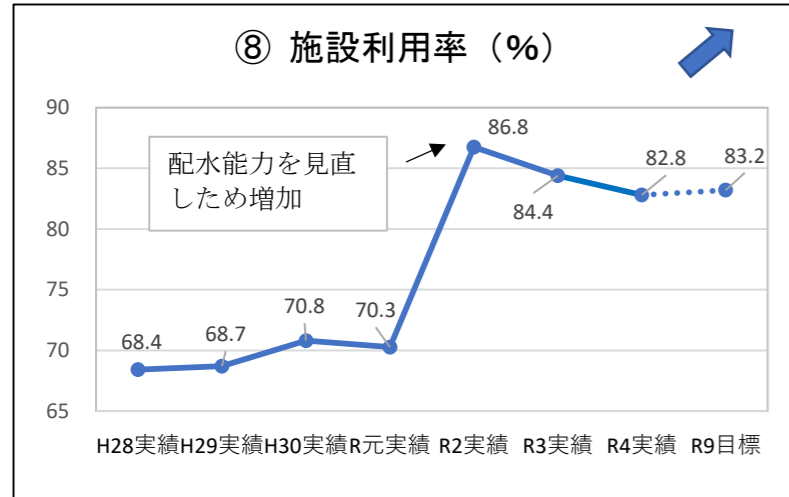
指標	説明	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	R3実績	R4実績	R9目標
①経年化設備率	法定耐用年数を超過した電気・機械設備数 電気・機械設備数	31.6	30.0	0.0	0.0	0.0	0.7	19.7	59.1
②経年化管路率	法定耐用年数を超過した管路延長 管路延長	7.5	8.9	15.9	18.5	23.9	25.4	26.6	35.7
③管路更新率	当該年度に更新した管路延長 管路延長	0.5	0.3	0.1	0.6	0.6	0.9	1.3	0.9
④浄水施設耐震率	耐震対策の施されている浄水施設能力 全浄水施設能力	45.9	76.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑤配水池耐震施設率	耐震対策の施されている配水池有効容量 配水池有効容量	96.3	98.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑥基幹管路の耐震適合率	耐震適合性のある管路延長 基幹管路の延長	72.7	72.7	74.6	74.7	75.6	76.9	77.2	82.1
⑦基幹管路の耐震化率	基幹管路の耐震管延長 基幹管路の延長	33.9	34.9	35.5	35.5	36.7	38.0	38.3	48.5

※ グラフ中、矢印（➡）は、望ましい方向

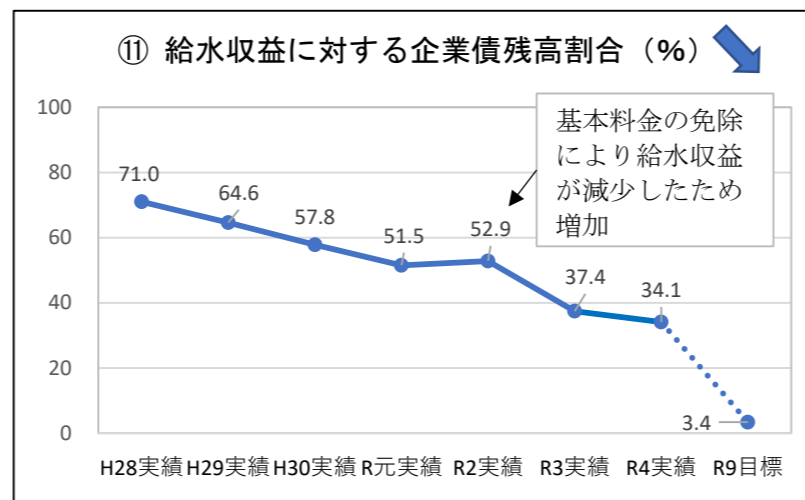
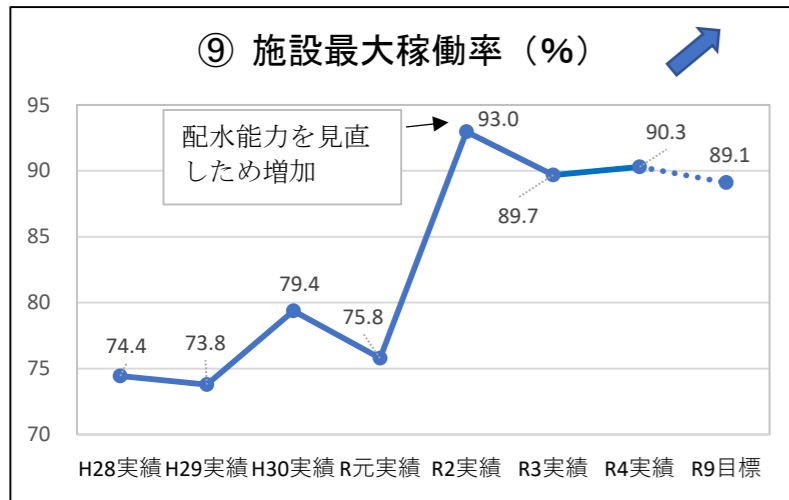
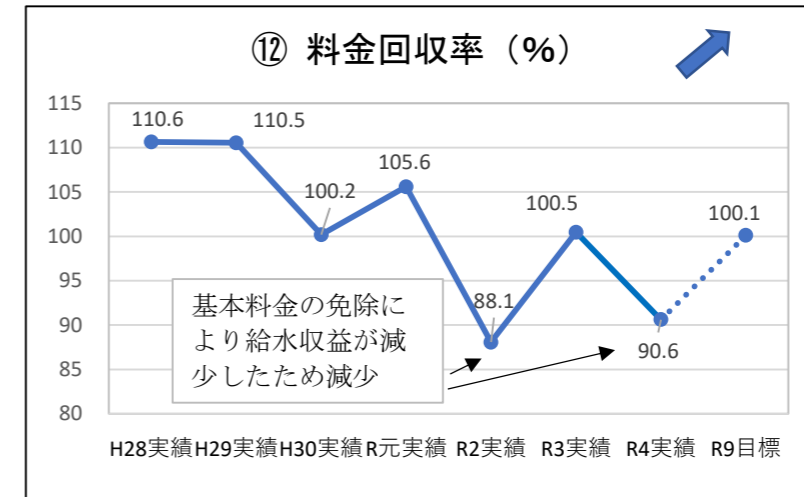
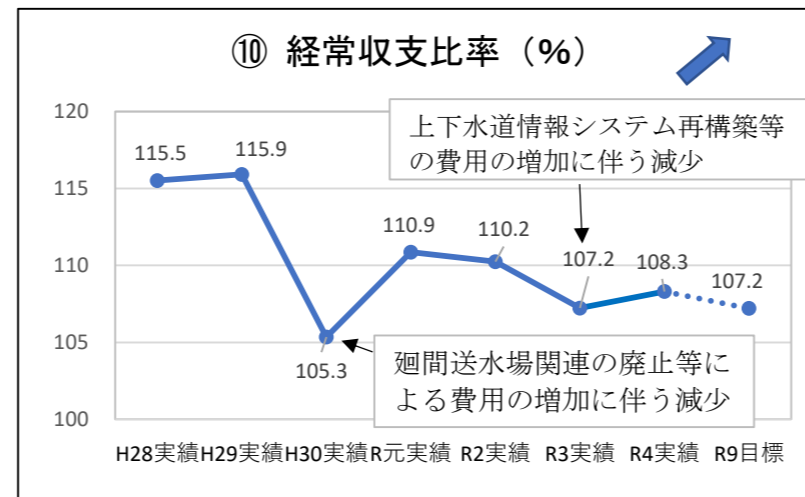
- ・⑧施設利用率は、1日平均配水量の減少により減少している。
- ・⑨施設最大稼働率は、1日最大配水量の増加により増加している。

- ・⑩経常収支比率は、給水収益が減少し、令和3年度に上下水道情報システム再構築を行い費用も減少したが、経常収益の減少幅より経常費用の減少幅の方が大きかったため増加している。
- ・⑪給水収益に対する企業債残高割合は、現在、企業債の借入を行っていないため減少している。
- ・⑫料金回収率は、水道料金の基本料金を免除したことにより給水収益が減少したため減少している。

将来を見据えた適正な施設の検証



収益の確保と経費の削減



(単位: %)

指標	説明	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	R3実績	R4実績	R9目標
⑧施設利用率	$\frac{1日平均配水量}{1日配水能力}$	68.4	68.7	70.8	70.3	86.8	84.4	82.8	83.2
⑨施設最大稼働率	$\frac{1日最大配水量}{1日配水能力}$	74.4	73.8	79.4	75.8	93.0	89.7	90.3	89.1
⑩経常収支比率	$\frac{営業収益+営業外収益}{営業費用+営業外費用}$	115.5	115.9	105.3	110.9	110.2	107.2	108.3	107.2
⑪給水収益に対する企業債残高割合	$\frac{企業債残高}{給水収益}$	71.0	64.6	57.8	51.5	52.9	37.4	34.1	3.4
⑫料金回収率	$\frac{給水収益}{営業費用+営業外費用-長期前受金戻入}$	110.6	110.5	100.2	105.6	88.1	100.5	90.6	100.1

4 今後の主な事業概要

令和5年度事業概要

体 系	内 容
1 安全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水質検査計画の改訂 ・ 水安全計画の改訂 ・ 水質検査機器の更新（イオンクロマトグラフ） ・ 直結給水の推奨
2 強靱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化更新 管路（高蔵寺町 他） ・ 耐震化 管路 （市民病院～西部ふれあいセンター 他） ・ 東山ポンプ場整備 用地造成工事
3 持続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上水道施設中央監視設備更新工事（実施設計） ・ 遊休土地の売却等募集 ・ 水源水中ポンプのインバータ機能増設（町屋第2水源） ・ 送水ポンプの運転時間帯調整によるデマンドレスポンスの実施（ゼロカーボン推進：桃山配水場） ・ 漏水調査範囲の拡大（7年計画：4年目） ・ 水質検査の相互協力（一宮市：有機物等分析受託）